



# 都立病院労組

Toritsu Hospital Workers' Union

## ニュース

第1期25号  
2023. 5. 23

地方独立行政法人都立病院機構労組  
執行委員会発行

ボーナス・賃上げ  
交渉への意見

**大募集!**

## 法人本部は、賃上げ・ボーナス増で職員の頑張りに応えろ! 賃上げなし・ボーナス月数0.1減のマイナス提案!



「私たちに辞めろということですかね」、1次回答の速報を聞いた組合員のつぶやきです。

23日、法人本部は賃上げ、ボーナスについて1次回答を行いました。内容は、賃上げなし、ボーナスは前年支給月を0.1月下回る4.45月という信じがたいものでした。

物価高騰のなか、法人として初めてのボーナス交渉がどうなるか、多くの組合員が注目しています。法人本部は、今年度は「特例的に成績率の拠出割合を0とし」、成績率を適応せず一律4.45月（6月に2.225月、12月に2.225月）を

支給するとしています。中位以下の職員は14,000円程度増額になると言いますが、昨年度上位評価のスタッフは大きく減額になります。

賃上げについても、「例月給の引上げは困難」とゼロ回答です。これでは、物価高騰の中、頑張っても生活は苦しくなってしまいます。新型コロナ防疫手当の新設も、PPE着用基準が緩和されているからと日額210円の低額回答でした。

このような内容では妥結することはできません。労組本部は、闘争委員会で1. 昨年実績4.55月上回るボーナス支給、2. 16,000円以上の賃上げ、3. 2,500円の新型コロナ防疫手当の新設を求める要求を法人本部に再提出すること、各支部での対院要請行動を取り組むことを決定しました。

現場から声をあげて、不当な回答を跳ね返そう!

## 給料UPで希望ある未来を 人員増 年休取得増 夜勤は4回まで 長く働ける労働条件実現を! #現場から声をあげて 労働条件を改善しよう!

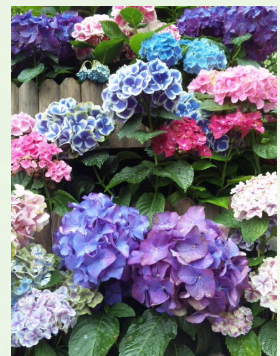
HPIに寄せられた意見を紹介します。

「月に5回以上の夜勤になっている。自身の健康管理をするのはもちろんだが、疲労が取れず連休も少なく、心身ともに疲弊している。人員の補充してほしい。」（広尾）、「人員は欠員スタートだし、夜勤も4回どころか5回6回。コロナ禍の中で踏ん張ってきても給料は下がるし、10年以上の職員は不要という意思表示なのだろうか?このままだと、沈むゆく船にしか感じない。」（墨東）

法人本部はモチベーションがアップする回答を!



▲コチラフォームから意見を入力



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin\_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は? いますぐチェック →



LINE@  
都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります  
LINE@アプリの登録が必要です

